

テーマ

①

画像検査用AIツールによる 画像解析と組込化研修

AI画像検査の製造現場における活用事例を紹介するとともに、製造現場の課題解決のためにAI画像検査技術をどのように導入していくのかを座学と演習を通して学びます。

日時

令和3年 **10月15日(金)** 10:00～16:00※新型コロナ感染急拡大を踏まえ開催を延期します

会場

鳥取県産業技術センター 電子・有機素材研究所 (鳥取市若葉台南7-1-1)

※新型コロナ対策を万全に行い実施します

定員

10名

受講料

4,000円(税込)

対象

鳥取県内の企業で製造現場の改善に取り組まれている方

【講師】

CEO 西本励照 氏
株式会社MENOU

【講師紹介】

- ・ニコンで画像検査システムの開発に携わり、現場の実態を目の当たりにし、本事業の遂行を決意
- ・製造業の画像解析に特化したプログラミングレス画像解析AIツールを開発
- ・光学からソフトウェア・ハードウェア開発まで、画像検査システム全体の開発実績多数

〔ホームページ〕 <https://menou.co.jp/>

【研修の内容】

■座学

- ・画像解析AIの種類や、対応業界での事例紹介

■演習

- ・ノーコードAI作成アプリ「Menou-TE」を用いた画像の「Segmentation (領域検出)」「Classification (分類)」「AnomalyDetection (異常検知・良品学習)」のモデリング手法についてのハンズオン
- ・製造現場でのモデル実装方法、AI運用のポイント

申込方法・
申込締切

センターHPの申込フォーム、参加申込書 (メールまたはFAX) によりお申し込みください。
センターHP: <https://www.tiit.or.jp> **【10月8日(金) 締切】**

お申し込み・
お問い合わせ先

(地独)鳥取県産業技術センター 電子・有機素材研究所
電子システムグループ (担当: 山根・福留)
TEL:0857-38-6200 FAX:0857-38-6210 E-mail:tiit-info1@tiit.or.jp

テーマ

②

AI画像認識の導入と 画像データ収集のポイント

中小製造現場で導入実績をあげた講師が、自身が手がけたAI画像認識システムの取り組みを紹介します。事例を通じて、AI画像認識システム導入の進め方から学習データの質と量の課題、学習を意識した画像データの集め方、品質保証への対応までを解説します。さらには、導入後の運用を通じての精度向上のための考え方にも触れます。

日時

令和3年9月17日(金) 13:00~17:00

会場

鳥取県産業技術センター 電子・有機素材研究所 (鳥取市若葉台南7-1-1)
※新型コロナ対策を万全に行い、講師と会場をオンラインで繋いで実施します

定員

10名

受講料

4,000円(税込)

対象

鳥取県内の企業で製造現場の改善に取り組まれている方

【講師】

准教授 森本雅和 氏

兵庫県立大学
大学院工学研究科

【講師紹介】

1998年、大阪大学大学院工学研究科通信工学専攻博士後期課程終了(博士(工学))。同年4月、姫路工業大学工学部 助手。2004年より兵庫県立大学 助手。2014年、兵庫県立大学大学院工学研究科 准教授となり、現在に至る。

企業との共同研究を通じて、世界初のパン画像識別レジシステム「BakeryScan」を開発。現在は、新たに開発されたカラー画像と同時に物体までの距離を計測できるカラー三次元センサを利用することで、より識別精度の高いシステムを開発するとともに、対象をパン以外にも広げ、様々な物体を自動識別できるシステムの開発に取り組んでいる。

【研修の内容】

- 1 AI画像認識システムの動向と導入基礎
- 2 AI画像認識システムの実例
- 3 AI画像認識のはじめ方と機械学習を意識した画像データ収集
- 4 学習データの量と質の課題
- 5 識別根拠の課題と品質保証への対応
- 6 AI画像認識システム導入の進め方

申込方法・
申込締切センターHPの申込フォーム、参加申込書(メールまたはFAX)によりお申し込みください。
センターHP: <https://www.tiit.or.jp> 【9月3日(金)締切】お申し込み・
お問い合わせ先(地独)鳥取県産業技術センター 電子・有機素材研究所
電子システムグループ (担当: 山根・福留)
TEL:0857-38-6200 FAX:0857-38-6210 E-mail:tiit-info1@tiit.or.jp